

モニタリング調査の骨子

1. 目的

- (1) 実施中又は検討中のサービスや施策に関する利用者の意見等を把握することで、改善や見直しに繋げ、企画立案の参考とする。
- (2) サービス計画の進行管理において、自己点検評価及び総合評価（第三者評価）の判断材料のひとつとして活用する。

2. 対象・実施時期

- (1) 対象：上尾市図書館（本館及び分館、公民館図書室）の利用者
- (2) 時期：令和5年4月予定（2週間程度）

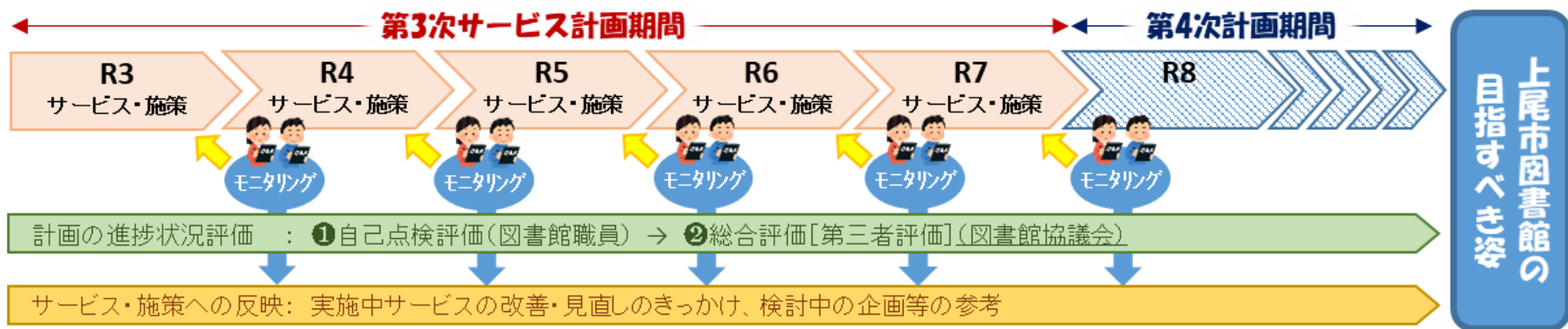
3. 内容

- (1) 方法：各館（室）に調査シートと回答箱を設置。利用者に任意に記入してもらいアンケート形式（1人につき1回答）による。
- (2) 設問：利用者属性に関する設問（年齢、在住地など）のほか、以下の内容をバランスを考慮して設定する（20～30問程度）。
 - ①図書館全般の満足度等に関する設問
 - ②実施中のサービス・施策に関する設問
 - ③検討中のサービス・施策に関する設問

4. 結果の取り扱い

調査終了後、評価用資料として集計。その後分析を含めて整理の上、上尾市図書館Webサイトにて公表する（9～10月頃目途）。

モニタリング調査のイメージ



定点観測により、統計データ（図書館要覧）では現れない満足度や印象など定性的な評価の推移も把握可能